

予算決算常任委員会委員長報告

去る 9 月 2 日及び 3 日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案 12 件です。議案につきましては、各分科会におきまして慎重な審査を行い、各分科会長から報告を受けた後、報告に対する、質疑、討論、採決を行いました。以下審査の経過と結果について順次報告いたします。

記

1 審査年月日 令和 7 年 9 月 22 日(月)

2 場 所 議 場

3 出席委員 青野康子、斉藤 章、桜井 卓、小久保博雅、
毛呂一夫、岡村有正、湯沢美恵、島野和夫、
高橋 誠、永井 司、金森すみ子、村田裕子、
滝瀬光一、中村洋子、現王園孝昭、諏訪幸男、
工藤日出夫、大嶋達巳

4 審査結果

「議案第 51 号」令和 6 年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定については、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

「議案第 52 号」令和 6 年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

「議案第 53 号」令和 6 年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第 54 号」令和 6 年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第 55 号」令和 6 年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定につ

いては、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

「議案第56号」令和6年度埼玉県央広域公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第57号」令和6年度北本市公共下水道事業会計決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第68号」令和7年度北本市一般会計補正予算（第5号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第69号」令和7年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第70号」令和7年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第71号」令和7年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第72号」令和7年度北本市介護保険特別会計補正予算（第2号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◎「議案第51号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）市税のうち市民税に関して、「個人市民税が前年度と比較して減収となった要因について」質疑がありました。

（２）県支出金のうち教育費委託金に関して、「よりよい生き方を実践する力

を育む道德教育の推進事業委託金として埼玉県から38万円を受けているが、この事業が始まった背景について」質疑がありました。

（３）財産収入のうち財産貸付収入に関して、「北本駅東口宿泊施設事業用地の土地面積、賃貸料及び契約内容について」質疑がありました。

（４）諸収入のうち雑入に関して、「広報きたもとのカラー化により広告掲載料を１万円から１万3,000円へ30%増額したとのことだが、広告料の増加率が約12%にとどまった要因について」質疑がありました。

（５）総務費のうち一般管理費に関して、「職員採用試験の状況と受験者を増やす取組について」、「外部副業人材活用事業において、710万円の予算に対し支出が260万4,550円にとどまった要因について」等の質疑がありました。

秘書広報費に関して、「広報きたもとの配布委託先を、自治会から北本市シルバー人材センターへ変更したことによる費用差について」質疑がありました。

情報管理費に関して、「基幹業務システムの標準化・共通化事業における令和６年度予算の執行状況について」質疑がありました。

企画財政総務費に関して、「若者チャレンジ支援による地域愛着醸成事業を立ち上げた経緯と効果について」、「ふるさと納税における、株式会社英國屋以外の返礼品が金額・件数ともに増加した要因について」等の質疑がありました。

賦課徴収費に関して、「収税業務における各収納チャンネルの利用状況について」質疑がありました。

（６）教育費のうち学校教育費に関して、「スクール・サポート・スタッフが令和６年度に３人増員したとのことだが、配置校、勤務体系、配置による事業執行上の効果について」質疑がありました。

学校給食費に関して、「学校給食施設維持管理業務においては計画的な修繕だけでなく緊急の対応も含まれているのか」と質疑がありました。

公民館費に関して、「地区公民館における空調更新保守業務をサブスク化した成果について」質疑がありました。

文化財保護費に関して、「文化財保存活用地域計画案の作成に係る予算の執行状況及び計画策定状況について」質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）国庫支出金のうち民生費国庫負担金に関して、「障害者自立支援給付費負担金及び障害児通所給付費負担金が増となった理由について」質疑がありました。

（２）諸収入のうち雑入に関して、「その他の雑入として医療費関係の項目が３件ほどあるが、返還金が生じる要因等について」質疑がありました。

（３）民生費のうち社会福祉総務費に関して、「生活困窮者自立支援業務の事業内容と効果について」質疑がありました。

老人福祉費に関して、「地域包括支援センター４か所の委託料の差異の要因及びそれぞれの区域内の高齢者数について」、「後期高齢者の健康診査の状況について、対象者が１万１,３１０人に対し、受診者が５,７００人、受診率５０.４％は、県の平均値と比較してどのような状況か」等の質疑がありました。

児童福祉総務費に関して、「子育て応援事業として８３０万６,１００円が計上されているが、前年比３３.７％増となった要因について、また、こども商品券の使用先について」、「児童館及び子育て支援センターの最終的な収支がマイナスになっている要因について」質疑がありました。

保育所費に関して、「きたもと保育士就職奨励金の事業内容と効果について」質疑がありました。

生活保護総務費に関して、「市のケースワーカーの人数及び１人当たりの担当世帯数について」質疑がありました。

（４）衛生費のうち予防費に関して、「１か月児健康診査助成金の申請件数と、全体の対象に対する割合について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（１）使用料及び手数料のうち農林水産業使用料に関して、「農業ふれあいセンターの使用料の積算の根拠を売上高の２％で算定しているが、この率の妥当性について今後検証が必要ではないか」と質疑がありました。

土木使用料に関して、「民間の家賃が上昇している中での使用料への影響の有無と、必要な人が入居しづらい状況にはなっていないか」と質疑がありました。

（２）繰入金のうち基金繰入金に関して、「緑と花のまちづくり基金繰入金が、令和５年度は約２,６００万だったが、令和６年度は約３３０万と大幅に減額となった理由について」質疑がありました。

（３）諸収入のうち雑入に関して、「消防団員退職報償金で７人とあるが、退職年齢などに達したという理由での退職なのか、また人数の減少はどうなっているか」と質疑がありました。

（４）総務費のうち戸籍住民基本台帳費に関して、「戸籍謄本が広域で交付できるようになるなどしているが、コンビニ交付やキャッシュレスでの交付などを導入している中で、全体的に窓口の業務量の負担感は減少しているのか」と質疑がありました。

（５）衛生費のうち環境衛生費に関して、「環境衛生業務経費の雑草等除去の実施状況について、昨年度に比べて苦情受付分の件数が急増しているが、どのような対応をしたのか」と質疑がありました。

し尿処理費に関して、「合併処理浄化槽設置補助事業について、補助件数が年々減っていく傾向にあるが、今後合併浄化槽への転換を進めるにあたり、課題についてどのように捉えているのか」と質疑がありました。

（６）農林水産業費のうち農業振興費に関して、「農業ふれあいセンター産業振興拠点施設情報発信等業務で、委託料６２０万４,０００円支出して、農業及び観光に関する情報の提供、地域の活性化、農業振興が図られたということだが、具

体的な各施設の来場者の伸びについて」質疑がありました。

（７）土木費のうち土木総務費に関して、「道路情報管理システムについて、市民サービス等の向上が図られたとあるが、システム入力１％の増である４７％、台帳については同率の７６％であるが、どのように向上が図られたのか」と質疑がありました。

道路維持費に関して、「道路維持管理委託業務で、害鳥排除活動委託として、ムクドリ対策７万１,０００円で、鷹匠に依頼したということだが、実際は北本駅西口、東口の各高木の剪定が有効だったと思う。それは害鳥排除活動委託ではないのか」と質疑がありました。

都市計画総務費に関して、「立地適正化計画策定支援業務の中で、市民アンケートを行っているが、北本市まちづくり市民アンケートとは別に行ったのか、またそのアンケートに関しての人数などについて」質疑がありました。

公園緑地費に関して、「北本総合公園野球場の使用率は伸びているということだが、約１億５,０００万円かけてスコアボードの整備などを行っている。当然活用をされたほうが良いわけだが、それについてどのように考えているか」と質疑がありました。

住宅管理費に関して、「台原の市営住宅に防犯カメラが設置されているが、設置の内容及び理由について」質疑がありました。

（８）消防費のうち消防施設費に関して、「消火栓設置等負担金の状況で、令和５年度の布設替が２基で、令和６年度が５基となっているが、計画的に行っているのか」と質疑がありました。

総務文教分科会会長報告に対し、「広報紙配布業務委託の実質的な経費の増加は約３６０万円程度ということだが、広報きたもと以外にも様々な配布物があり、配布全体の委託料はいくらだったのか、増加量について確認はしているのか」、「社会教育委員の会議について、社会教育法では社会教育委員の職務として社会教育に関する諸計画を立案すること、社会教育関係団体に対し補助金

を交付しようとする場合は社会教育委員の会議の意見を聴くこととされているが、令和6年度の会議は予算議決後の5月30日に行われている。予算を伴う諸計画及び社会教育関係団体への補助金交付は、予算編成時に審議すべきと考えるが、社会教育法との整合性・妥当性について質疑はあったのか」、「こども図書館の指定管理者の令和6年度の収支が赤字となっていることについて、執行部はどのように受け止めているのか、また、収支が赤字になる可能性について事前に相談が行われたのかという質疑はあったのか」と質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対し、「きたもと保育士就職奨励金を7園14名に交付したということだが、7園について偏り等はなかったのか質疑はあったのか」、「1か月児健康診査助成金について、令和6年度の割合は約6割ということだが、成果があったと捉えられるのか」、「医療体制の整備関係について、今後の懸念点について質疑はあったのか」と質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対し、「歳入の森林環境譲与税768万7,000円について、令和6年度の歳出はどのようなになっているのか質疑はあったのか」、「北本市コミュニティ協議会補助金1,100万139円について、各種事業を通じて全市的なコミュニティの推進が図られたということだが、事業内容及び効果について質疑はあったのか」、「さんた亭の空調設備改修工事が605万円で行われ、さんた亭の使用料は年間約87万円となっているが、地域食材である地元産そば粉の割合について質疑はあったのか、また、今後も現状と同じ条件で施設を運営させるべきかどうかについて質疑はあったのか」、「産業振興拠点施設情報発信等委託業務620万4,000円について、適正な施設運営を行ったということだが、適正かどうかの判断基準の有無について質疑はあったのか、また、具体的な地域経済活性化の事例について質疑はあったのか」、「都市公園の指定管理者の令和6年度の収支が赤字となっていることについて、執行部はどのように受け止めているのか、また、収支が赤字になる可能性について事前に相談が行われたのかという質疑はあったのか」と質疑がありました。

本案に反対の討論が2件ありました。

◎「議案第52号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 後期高齢者医療保険料のうち後期高齢者医療保険料に関して、「滞納処分の状況について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、本案に反対の討論が1件ありました。

◎「議案第53号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 事業費のうち土地区画整理費に関して、「国庫補助金の増などにより、基幹整備工事がかなり進んだということだが、事業に対しての執行率の状況について、また区画整理事業全体としての進捗率はどのような状況か」と質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第54号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 保健事業費のうち特定健康診査等事業費に関して、「特定保健指導が、対象者423人中実施者が75人、実施率が17.7%と低い状態である一方、269万3,680円の委託料が発生している状況について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第55号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 総務費のうち介護認定費に関して、「介護認定審査会の委員人数及び報酬について」、「申請から介護認定までの日数の課題について」質疑がありました。

(2) 地域支援事業費のうち一般介護予防事業費に関して、「介護認定の主な

要因の把握と、その対策への取組について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、本案に反対の討論が1件ありました。

◎「議案第56号」について

総務文教分科会での質疑及び分科会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第57号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 下水道事業収益的支出のうち負担金に関して、「令和6年6月から使用料を改定したが、支出に関しての影響について」質疑がありました。

流域下水道維持管理負担金に関して、「流域下水道維持管理負担金の不用額が約2,100万円計上されている理由について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第68号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 総務費のうち財産管理費に関して、「公共施設整備基金積立金については、現状の毎年1億円ずつ積み立てるペースで財源は間に合うのか」と質疑がありました。

(2) 教育費のうち学校管理費に関して、「通級指導教室の設置場所や工事内容、工期について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 債務負担行為のうちデマンドバス増車実証実験業務に関して、「これから地域公共交通計画を策定しようとしている中で、なぜデマンドバスの実証実験を先に行うのか」等の質疑がありました。

各分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第69号」について

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

◎「議案第70号」について

建設経済分科会での質疑及び分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

◎「議案第71号」について

健康福祉分科会での質疑及び分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

◎「議案第72号」について

健康福祉分科会での質疑及び分科会会長報告に対する質疑はなく、討論ありませんでした。

なお、各分科会会長から報告のあった内容の詳細につきましては、各分科会会長報告のとおりですので、御覧いただきますようお願いいたします。

以上報告いたします。

令和7年9月26日

予算決算常任委員会

委員長 大 嶋 達 巳

北本市議会議長 保 角 美 代 様